

令和 8 年度

医学系研究科

修士課程 (医科学専攻)

履修案内

<履修案内英語版 (English version of the course guide) >



大阪大学大学院医学系研究科

目 次

令和8年度 年間行事予定表	1
1. カリキュラムについて	
1-1. 標準修業年限	2
1-2. カリキュラムと学位	2
1-3. 修了要件	2
【医科学コース】 実験医科学プログラム	3
【医科学コース】 臨床データ研究プログラム	4
【未来臨床科学コース】 スポーツ医科学研究プログラム	5
【公衆衛生学コース】 公衆衛生学プログラム	6
【公衆衛生学コース】 医学統計プログラム	8
【死因究明学コース】 死因究明学プログラム	10
医科学専攻共通選択科目	12
2. 授業科目について	
2-1. 修士課程1年次 必修科目	13
2-2. 各プログラム 必修・選択必修科目	14
2-3. 研究指導系科目	14
2-4. 修了要件外の科目について	14
2-5. 研究指導計画書について	15
● 「実験医科学プログラム」の必修科目について	15
3. 履修方法、大阪大学学務情報システム（KOAN）について	
3-1. 授業科目の履修について	17
3-2. 大阪大学学務情報システム（KOAN）について	17
4. 履修コース・プログラム、所属研究室について	
4-1. 履修コース・プログラムについて	18
4-2. プログラムと所属研究室について	18
5. 学位の取得について	
学位取得までのスケジュール【2年次】	19
修士論文の審査及び最終試験に関する申し合せ	20
修士課程医科学専攻における学位論文審査基準	22

6. 修士課程1年次 必修科目時間割	25
医科学概論Ⅰ 時間割表	26
医科学概論Ⅱ 時間割表	27
人体系統解剖学実習 時間割表	28
7-1. 大阪大学の大学院教育システム	29
7-2. 横断型教育について	31
8. コミュニケーションデザイン科目及びCOデザイン科目について	32
9. 授業料及び奨学金について	
9-1. 授業料の納付について	33
9-2. 授業料の免除について	33
9-3. 日本学生支援機構第一種・第二種奨学金(外国人留学生を除く)について	34
9-4. 地方公共団体及び民間奨学団体奨学金(外国人留学生を除く)について	36
10. 健康管理及び安全について	
10-1. 健康管理について	37
10-2. 大学院生の相談窓口について	37
10-3. 学生教育研究災害傷害保険について	38
10-4. 安全のための手引について	40
11. 学生留意事項	
11-1. 教務課教務係の窓口業務について	41
11-2. 諸手続き等について(休学、退学、復学、身上変更、留学)	41
11-3. 学生に対する連絡方法等について	43
11-4. 入退館カードについて	43
11-5. 学生証について	43
11-6. 各種証明書の発行について	44
11-7. 車両入構について	45
11-8. 気象警報発令時の授業の取扱いについて	45
11-9. 各種募集要項等の閲覧について(他大学、奨学金等)	45
12. 外国人留学生留意事項	46
規程等	47
研究指導計画書	50
案内図(医学部周辺、医学部講義棟、最先端医療イノベーションセンター棟)	51

令和8年度 年間行事予定表

学期	月	日	曜	実施内容	備考
春学期 (4月1日～6月14日)	4	2	木	大阪大学入学式	大阪城ホール(予定)
		3	金	医学系研究科入学式、ガイダンス、大学院共通講義(午前)	医学部講義棟 1階 A講堂
				修士課程オリエンテーション(午後)	医学部講義棟 2階 第2講義室
				春・夏学期開講科目 履修登録開始	学務情報システム(KOAN)から登録
	17	金	春・夏学期開講科目 履修登録終了		
	5/1, 5/2		金,土	いちよう祭	
夏学期 (6月15日～9月30日)	9	14	月	秋・冬学期開講科目 履修登録開始	学務情報システム(KOAN)から登録
				春・夏学期開講科目 成績発表(確定したものから順次)	学務情報システム(KOAN)参照
		下旬			秋季医学系研究科大学院学位記授与式
秋学期 (10月1日～12月2日)	10	9	金	秋・冬学期開講科目 履修登録終了	
	11	1～3	日～火	大学祭	
冬学期 (12月3日～3月31日)	2	上旬		修士課程論文発表会(2年次)	オンライン開催予定
	3	上旬		秋・冬学期および通年開講科目 成績発表(確定したものから順次)	学務情報システム(KOAN)にて
		下旬			春季卒業式・大学院学位記授与式
				医学科卒業式、山村賞授与式、博士課程優秀者表彰式	医学部講義棟1階 A講堂 (予定)

1. カリキュラムについて

1-1. 標準修業年限

修士課程の標準修業年限は2年です。

1-2. カリキュラムと学位

医科学コース、未来臨床科学コース、公衆衛生学コース及び死因究明学コースの4つのコースがあります。所定の要件を満たした学生に対し、医科学コース及び未来臨床科学コースでは「**修士（医科学）**」、公衆衛生学コース及び死因究明学コースでは「**修士（公衆衛生学）**」の学位が授与されます。

カリキュラム一覧

コース名	プログラム名	学位
医科学	実験医科学	修士 (医科学)
	臨床データ研究	
未来臨床科学	スポーツ医科学研究	
公衆衛生学	公衆衛生学	修士 (公衆衛生学)
	医学統計	
死因究明学	死因究明学	

※各プログラムに関連する研究室については、18ページ「4-2.プログラムと所属研究室について」を参照

1-3. 修了要件

次の表に示す各コース・プログラムが定める科目から、所定の単位を修得し2年次の2月上旬に開催される修士論文発表会にて審査を受けることが必要です。

※各授業科目についての詳細はKOANにてシラバスを参照してください。

医科学コース

実験医科学プログラム

区分	時間割 コード	授業科目	単位	配当 年次	開講 学期	備考	高度国際性 涵養教育科目
必修	25P001	医科学概論 I	2	1	春		
	25P002	医科学概論 II	2	1	春		
	25PA03	人体系統解剖学実習	1	1	冬		
	250007	機器セミナー	1	1	春		
	250580	Medical English I	1	1	春夏		○
	250581	Medical English II	1	1	秋冬		○
	250582	Medical English III	1	2	春夏		○
	250583	Medical English IV	1	2	秋冬		○
	250584	Medical Oral Presentation and Discussion I	1	2	春夏		○
	250585	Medical Oral Presentation and Discussion II	1	2	秋冬		○
	250586	医科学特論 I	2	2	春夏		
	250587	医科学特論 II	2	2	秋冬	高度教養教育科目	
		実験医科学セミナー I	4	1	春夏	研究指導系科目	
		実験医科学セミナー II	4	1	秋冬		
		実験医科学セミナー III	4	2	春夏		
	実験医科学セミナー IV (※)	4	2	秋冬			

《春学期 (4/1～6/14)、夏学期 (6/15～9/30)、秋学期 (10/1～12/2)、冬学期 (12/3～3/31)》

修了要件	必修科目から32単位(高度国際性涵養教育科目6単位及び高度教養教育科目2単位を含む)を修得する。
------	--

(※)修士課程在学中に系別セミナーへ20回以上参加し、各回のレポートを2年次の11月末日までに指導教員へ提出すること。当該レポートは実験医科学セミナーIVにおいて評価される。
(詳細は16ページ参照)

医科学コース

臨床データ研究プログラム

区分	時間割コード	授業科目	単位	配当年次	開講学期	備考	高度国際性 涵養教育科目
必修	25P001	医科学概論 I	2	1	春	修士課程1年次 必修科目	
	25P002	医科学概論 II	2	1	春		
	25PA03	人体系統解剖学実習	1	1	冬		
	25Q005	臨床データ研究実習 I	3	1	春夏	研究指導系科目	
	25Q006	臨床データ研究実習 II	3	1	秋冬		
	25Q007	臨床データ研究実習 III	5	2	春夏		
	25Q008	臨床データ研究実習 IV	5	2	秋冬		
(注)	(注)	1以上	(注)	(注)	高度教養教育科目		
選択 必修	250580	Medical English I	1	1	春夏	Medical English科目 (2単位以上)	○
	250581	Medical English II	1	1	秋冬		○
	250582	Medical English III	1	2	春夏		○
	250583	Medical English IV	1	2	秋冬		○
	250562	臨床疫学	1	1	秋冬	臨床データ研究科目 (5単位以上)	
	251597	医療情報学概論	1	1	春		
	251598	医用人工知能	1	1	夏		
	251599	医療情報システム	1	1	夏		
	250567	医工情報学入門 I	2	1	通年		
	250568	医工情報学入門 II	2	1	通年		
	251512	法臨床医学	2	1	秋		
	250572	医学統計学総論	2	1	春夏		
	250573	医学統計学各論	2	1	秋冬		
	250548	クリニカルトリアル総論	2	1	秋冬		

≪ 春学期 (4/1～6/14)、夏学期 (6/15～9/30)、秋学期 (10/1～12/2)、冬学期 (12/3～3/31) ≫

修了要件	必修科目 2 2 単位 (高度教養教育科目 (注) 1 単位を含む。)、選択必修科目から 9 単位以上 (Medical English科目 (高度国際性涵養教育科目) 2 単位以上、臨床データ研究科目 5 単位以上を含む。)、合計 3 1 単位以上を修得する。
------	---

(注) 高度教養教育科目とは、医科学専攻の他のプログラムの授業科目、医科学専攻共通選択科目、他専攻の授業科目、他研究科の授業科目、大学院横断教育科目及びリーディングプログラム科目のうち、高度教養教育科目として全学に提供される科目をいう。

未来臨床科学コース

スポーツ医科学研究プログラム

区分	時間割コード	授業科目	単位	配当年次	開講学期	備考	高度国際性 涵養教育科目
必修	25P001	医科学概論Ⅰ	2	1	春	修士課程1年次 必修科目	
	25P002	医科学概論Ⅱ	2	1	春		
	25PA03	人体系統解剖学実習	1	1	冬		
	250525	スポーツ健康医科学	2	1	夏		
	25Q013	スポーツ医科学研究セミナーⅠ	4	1	春夏	研究指導系科目	
	25Q014	スポーツ医科学研究セミナーⅡ	4	1	秋冬		
	25Q015	スポーツ医科学研究セミナーⅢ	4	2	春夏		
	25Q016	スポーツ医科学研究セミナーⅣ	4	2	秋冬		
	(注)	(注)	1以上	(注)	(注)	高度教養教育科目	
選択 必修	250580	Medical English I	1	1	春夏	Medical English科目 (2単位以上)	○
	250581	Medical English II	1	1	秋冬		○
	250582	Medical English III	1	2	春夏		○
	250583	Medical English IV	1	2	秋冬		○
	250556	スポーツ運動器医科学	1	1	夏	スポーツ医科学科目 (2単位以上)	
	250557	スポーツ臨床医科学	1	1	秋冬		
	250558	スポーツ脳発達科学	1	1	夏		
	250555	スポーツパフォーマンス科学	1	1	夏		
	251512	法臨床医学	2	1	秋		
	250506	疫学総論	2	1	春夏		
	251597	医療情報学概論	1	1	春		
	251598	医用人工知能	1	1	夏		
	250559	身体運動学Ⅰ	2	1	春夏		
	250560	身体運動学Ⅱ	1	1	夏		
	250561	知覚・認知情報処理科学	1	1	春		
	211794	国際協力学特講Ⅰ	2	1	秋冬		
	251600	身体情報行動学	1	1	夏		
	251601	脳情報解読とBMI	1	1	夏		
	251602	脳波解析概論	2	1	夏		
	251603	神経科学と動物実験	1	1	夏		

《春学期(4/1~6/14)、夏学期(6/15~9/30)、秋学期(10/1~12/2)、冬学期(12/3~3/31)》

修了要件	必修科目24単位(高度教養教育科目(注)1単位を含む。)、選択必修科目から7単位以上(Medical English科目(高度国際性涵養教育科目)2単位以上、スポーツ医科学科目2単位以上を含む。)、合計31単位以上を修得する。
------	---

(注)高度教養教育科目とは、医科学専攻の他のプログラムの授業科目、医科学専攻共通選択科目、他専攻の授業科目、他研究科の授業科目、大学院横断教育科目及びリーディングプログラム科目のうち、高度教養教育科目として全学に提供される科目をいう。

公衆衛生学コース

公衆衛生学プログラム

区分	時間割コード	授業科目	単位	配当年次	開講学期	備考	高度国際性 涵養教育科目 (1単位以上を 要修得)
必修	25P001	医科学概論Ⅰ	2	1	春	修士課程1年次 必修科目	
	25P002	医科学概論Ⅱ	2	1	春		
	25PA03	人体系統解剖学実習	1	1	冬		
	25Q021	公衆衛生学セミナーⅠ	2	1	春夏	研究指導系科目	
	25Q022	公衆衛生学セミナーⅡ	2	1	秋冬		
	25Q023	公衆衛生学セミナーⅢ	3	2	春夏		
	25Q024	公衆衛生学セミナーⅣ	3	2	秋冬		
(注1)	(注1)	1以上	(注1)	(注1)	高度教養教育科目		
選択 必修	250506	疫学総論(注2)	2	1	春夏	疫学科目 (2単位以上)	○
	250507	疫学各論	2	1	夏		○
	250519	疫学フィールド実習	2	1	通年		
	250562	臨床疫学	1	1	秋冬		
	251594	応用臨床疫学	2	1	通年		○
	250572	医学統計学総論	2	1	春夏	生物統計学科目 (2単位以上)	
	250573	医学統計学各論	2	1	秋冬		
	250548	クリニカルトライアル総論	2	1	秋冬		
	250578	統計プログラミング1	1	1	通年		
	250579	統計プログラミング2	1	1	通年		
	250590	医学統計学特論1	1	1,2	通年		
	250591	医学統計学特論2	1	1,2	通年		
	251597	医療情報学概論	1	1	春		
	251598	医用人工知能	1	1	夏		
	251599	医療情報システム	1	1	夏		
	251513	国際感染症学	2	1	通年	環境保健学科目 (2単位以上)	
	251522	死因究明学概論	2	1	春夏		○

区分	時間割コード	授業科目	単位	配当年次	開講学期	備考	高度国際性 涵養教育科目 (1単位以上を要 修得)
選択 必修	251518	行動医学・健康科学	2	1	夏	社会学・行動科学 科目(2単位以上)	
	251550	グローバルヘルス学総論	2	1	秋		○
	251516	医療・法・裁判Ⅰ	2	1	春		
	251517	医療・法・裁判Ⅱ	2	1	冬		
	251511	法医学概論	2	1	春夏		
	251512	法臨床医学	2	1	秋		
	251529	死因診断学総論	2	1	夏		○
	251531	死因診断学各論Ⅰ	2	1	夏		
	251532	死因診断学各論Ⅱ	2	1	秋		
	251533	死後画像診断学総論	2	1	夏		
	251534	死後画像診断学各論	2	1	秋		
	251515	国際健康政策学	2	1	夏	保健医療政策学・ 医療管理学科目 (2単位以上)	○
	251501	経済学・経営学の基礎理論	1	1	春		
	251502	医療経済・経営入門	1	1	秋		
	251592	医療経済産業政策学総論	2	1	春夏		○
	251593	医療経済産業政策学各論	2	1	秋冬		
	251510	医療安全・クオリティマネジメント学 総論	2	1	夏		
250525	スポーツ健康医科学	2	1	夏			

《春学期(4/1~6/14)、夏学期(6/15~9/30)、秋学期(10/1~12/2)、冬学期(12/3~3/31)》

修了要件	必修科目16単位(高度教養教育科目(注1)1単位を含む。)、選択必修科目から15単位以上(疫学科目2単位以上、生物統計学科目2単位以上、環境保健学科目2単位以上、社会学・行動科学科目2単位以上、保健医療政策学・医療管理学科目2単位以上。そのうち、1単位以上は高度国際性涵養教育科目を含む。)、合計31単位以上を修得する。
------	--

(注1) 高度教養教育科目とは、医科学専攻の他のプログラムの授業科目、医科学専攻共通選択科目、他専攻の授業科目、他研究科の授業科目、大学院横断教育科目及びリーディングプログラム科目のうち、高度教養教育科目として全学に提供される科目をいう。

(注2) 「疫学総論」は、1年次に修得するようにしてください。

公衆衛生学コース

医学統計プログラム

区分	時間割コード	授業科目	単位	配当年次	開講学期	備考	高度国際性 涵養教育科目 (1単位以上を 要修得)
必修	25P001	医科学概論 I	2	1	春	修士課程1年次 必修科目	
	25P002	医科学概論 II	2	1	春		
	25PA03	人体系統解剖学実習	1	1	冬		
	250572	医学統計学総論	2	1	春夏		
	250573	医学統計学各論	2	1	秋冬		
	250548	クリニカルトライアル総論	2	1	秋冬		
	25Q029	医学統計セミナー I	2	1	春夏	研究指導系科目	
	25Q030	医学統計セミナー II	2	1	秋冬		
	25Q031	医学統計セミナー III	2	2	春夏		
	25Q036	医学統計セミナー IV	2	2	秋冬		
		(注)	(注)	1以上	(注)	(注)	高度教養教育科目
選択 必修	250578	統計プログラミング1	1	1	春夏	医学統計科目 (2単位以上)	
	250579	統計プログラミング2	1	1	春夏		
	250590	医学統計学特論1	1	1,2	通年		
	250591	医学統計学特論2	1	1,2	通年		
	251597	医療情報学概論	1	1	春		
	251598	医用人工知能	1	1	夏		
	251599	医療情報システム	1	1	夏		
	250506	疫学総論	2	1	春夏	疫学科目 (2単位以上)	
	250507	疫学各論	2	1	夏		○
	250519	疫学フィールド実習	2	1	通年		
	250562	臨床疫学	1	1	秋冬		
	251594	応用臨床疫学	2	1	通年		
	251513	国際感染症学	2	1	通年	環境保健学科目 (2単位以上)	
251522	死因究明学概論	2	1	春夏	○		

区分	時間割 コード	授業科目	単位	配当 年次	開講 学期	備考	高度国際性 涵養教育科目 (1単位以上を 要修得)
選択 必修	251518	行動医学・健康科学	2	1	夏	社会学・行動科学 科目(2単位以上)	
	251550	グローバルヘルス学総論	2	1	秋冬		○
	251516	医療・法・裁判Ⅰ	2	1	春		
	251517	医療・法・裁判Ⅱ	2	1	秋		
	251511	法医学概論	2	1	春夏		
	251512	法臨床医学	2	1	秋		
	251529	死因診断学総論	2	1	夏		○
	251531	死因診断学各論Ⅰ	2	1	夏		
	251532	死因診断学各論Ⅱ	2	1	秋		
	251533	死後画像診断学総論	2	1	夏		
	251534	死後画像診断学各論	2	1	秋		
選択 必修	251515	国際健康政策学	2	1	夏	保健医療政策学・医 療管理学科目 (2単位以上)	○
	251501	経済学・経営学の基礎理論	1	1	夏		
	251502	医療経済・経営入門	1	1	秋		
	251592	医療経済産業政策学総論	2	1	夏		
	251593	医療経済産業政策学各論	2	1	秋冬		
	251510	医療安全・クオリティマネジメント学 総論	2	1	夏		
	250525	スポーツ健康医科学	2	1	夏		

《春学期(4/1~6/12)、夏学期(6/13~9/30)、秋学期(10/1~12/2)、冬学期(12/3~3/31)》

修了要件	必修科目20単位(高度教養教育科目(注)1単位を含む。)、選択必修科目から11単位以上(医学統計科目2単位以上、疫学科目2単位以上、環境保健学科目2単位以上、社会学・行動科学科目2単位以上、保健医療政策学・医療管理学科目2単位以上。そのうち、1単位以上は高度国際性涵養教育科目を含む。)、合計31単位以上を修得する。
------	--

(注) 高度教養教育科目とは、医科学専攻の他のプログラムの授業科目、医科学専攻共通選択科目、他専攻の授業科目、他研究科の授業科目、大学院横断教育科目及びリーディングプログラム科目のうち、高度教養教育科目として全学に提供される科目をいう。

死因究明学コース
死因究明学プログラム

区分	時間割 コード	授業科目	単位	配当 年次	開講 学期	備考	高度国際性 涵養教育科目 (1単位以上を 要修得)
必修	25P001	医科学概論Ⅰ	2	1	春	修士課程1年次 必修科目	
	25P002	医科学概論Ⅱ	2	1	春		
	25PA03	人体系統解剖学実習	1	1	冬		
	251529	死因診断学総論	2	1	夏		○
	251531	死因診断学各論Ⅰ	2	1	夏		
	251532	死因診断学各論Ⅱ	2	1	秋		
	251533	死後画像診断学総論	2	1	夏		
	251534	死後画像診断学各論	2	1	秋		
	250530	死因診断学実地演習	2	2	通年		
	250535	死後画像診断学演習	2	2	通年		
	25Q032	死因究明学セミナーⅠ	1	1	春夏	研究指導系科目	
	25Q033	死因究明学セミナーⅡ	1	1	秋冬		
	25Q034	死因究明学セミナーⅢ	1	2	春夏		
	25Q035	死因究明学セミナーⅣ	1	2	秋冬		
	(注)	(注)	1以上	(注)	(注)	高度教養教育科目	
選択 必修	250506	疫学総論	2	1	春夏	疫学科目 (2単位以上)	
	250507	疫学各論	2	1	夏		○
	250519	疫学フィールド実習	2	1	通年		
	250562	臨床疫学	1	1	秋冬		
	251594	応用臨床疫学	2	1	通年		
	250572	医学統計学総論	2	1	春夏	生物統計学科目 (2単位以上)	
	250573	医学統計学各論	2	1	秋冬		
	250548	クリニカルトライアル総論	2	1	秋冬		
	250578	統計プログラミング1	1	1	通年		
	250579	統計プログラミング2	1	1	通年		
	250590	医学統計学特論1	1	1,2	通年		
	250591	医学統計学特論2	1	1,2	通年		
	251597	医療情報学概論	1	1	春		
	251598	医用人工知能	1	1	夏		
	251599	医療情報システム	1	1	夏		
	251513	国際感染症学	2	1	通年	環境保健学科目 (2単位以上)	
	251522	死因究明学概論	2	1	春夏		○

区分	時間割コード	授業科目	単位	配当年次	開講学期	備考	高度国際性 涵養教育科目 (1単位以上を 要修得)
選択 必修	251518	行動医学・健康科学	2	1	夏	社会学・行動科学 科目(2単位以上)	
	251550	グローバルヘルス学総論	2	1	秋冬		○
	251516	医療・法・裁判Ⅰ	2	1	春		
	251517	医療・法・裁判Ⅱ	2	1	秋		
	251511	法医学概論	2	1	春夏		
	251512	法臨床医学	2	1	秋		
	251515	国際健康政策学	2	1	夏	保健医療政策学・ 医療管理学科目 (2単位以上)	○
	251501	経済学・経営学の基礎理論	1	1	夏		
	251502	医療経済・経営入門	1	1	秋		
	251592	医療経済産業政策学総論	2	1	夏		
	251593	医療経済産業政策学各論	2	1	秋冬		
	251510	医療安全・クオリティマネジメント学 総論	2	1	夏		
	251561	「次のいのちを守る」社会公共政策立 案論	1	1	通年		○
	250525	スポーツ健康医科学	2	1	夏		

《春学期(4/1~6/12)、夏学期(6/13~9/30)、秋学期(10/1~12/2)、冬学期(12/3~3/31)》

修了要件	必修科目24単位(高度教養教育科目(注)1単位を含む。)、選択必修科目から10単位以上(疫学科目2単位以上、生物統計学科目2単位以上、環境保健学科目2単位以上、社会学・行動科学科目2単位以上、保健医療政策学・医療管理学科目2単位以上。そのうち、1単位以上は高度国際性涵養教育科目を含む。)、合計34単位以上を修得する。
------	---

(注) 高度教養教育科目とは、医科学専攻の他のプログラムの授業科目、医科学専攻共通選択科目、他専攻の授業科目、他研究科の授業科目、大学院横断教育科目及びリーディングプログラム科目のうち、高度教養教育科目として全学に提供される科目をいう。

医科学専攻共通選択科目

区分	時間割 コード	授業科目	単位	配当 年次	開講 学期	備考	高度国際性 涵養教育科目
選択	250275	予測社会医学特論	1	1, 2	通年	高度教養教育科目	
	250526	健康・医療特論	2	1, 2	冬	高度教養教育科目	
	250293	医療機器開発のマネジメント	2	1, 2	春夏	高度教養教育科目	
	250592	虐待予防医学	1	1, 2	秋冬	高度教養教育科目	

2. 授業科目について

各授業科目の詳細はシラバスに掲載されていますので、各自確認してください。

必修科目は教務係で履修登録をしていますので、学生は選択必修と高度教養教育科目等、その他履修を希望する科目の履修登録を、学期ごとに定められた期間内に行ってください。

なお、必修科目のレポートについては大阪大学医学系研究科 HP（在学生の方へ > 証明書・各種支援・提出様式等 > 各種様式）から様式をダウンロードして使用してください。



様式は左にある QR コードからアクセス
しダウンロード可能です。

※シラバスは、大阪大学学務情報システム（KOAN）から参照できます（17ページ「3-2. 大阪大学 学務情報システム（KOAN）について」参照）。

2-1. 修士課程1年次 必修科目（全プログラム共通）

◇医科学概論Ⅰ、医科学概論Ⅱ（時間割の詳細は26ページ参照）

日程：令和8年4月6日（月）～ 4月21日（火）

※未来医療センター見学実習：5月7, 14, 21日のうち指定された1日

基礎医学および臨床医学の基礎知識を学ぶための講義です。4月に集中的に行われ、すべての講義で出席をとります。テーマごとに講義担当教員が変わるオムニバス形式の講義となっており、学生は各教員から与えられるレポート課題から各科目4名以上の教員を選択し、レポートを提出する必要があります。

授業科目名	単位数	提出が必要なレポート数
医科学概論Ⅰ	2	4つ以上
医科学概論Ⅱ	2	4つ以上

提出締切：令和8年5月14日（木）17時

提出先：医学系研究科教務係窓口

※ⅠとⅡでそれぞれ4名以上の担当教員分（1担当教室につき1つまで）のレポートを提出してください。4つのレポートの平均点で評価を行います。なお、5つ以上の提出があった場合は、点数上位4つのレポートの平均点で評価を行います。

◇人体系統解剖学実習（時間割の詳細は28ページ参照）

日程：令和8年12月7日(月) ※左記までにCLEにてWEB講義を要受講
解剖学に関する基礎知識を得るための実習講義です。講義の際に教員から与えられたレポート課題を提出することで成績評価がなされます。

授業科目名	単位数	提出が必要なレポート数
人体系統解剖学実習	1	3つ（担当教室につき1つずつ）

提出締切：令和8年12月21日(月) 17時

提出先：医学系研究科教務係窓口

◇高度教養教育科目

「高度教養教育科目」とは、本プログラムの授業科目、医科学専攻の他のプログラムの授業科目、医科学専攻共通選択科目、他専攻の授業科目、他研究科の授業科目、大学院横断教育科目及びリーディングプログラム科目のうち、高度教養教育科目として全学に提供される科目を指します。

医学系研究科修士課程では1単位以上の修得が修了要件上必須ですので、**自身の必修・選択必修科目以外で、高度教養教育科目として開講されている科目から必ず修得してください。**

※ただし、「実験医科学プログラム」の学生のみ、必修科目の「医科学特論Ⅱ（2年次履修）」が高度教養教育科目として認められていますので、追加で履修する必要はありません。

2-2. 各プログラム 必修・選択必修科目

自身が選択したプログラムの修了要件科目表（3～11ページ）および各科目のシラバスを確認の上、履修してください。

2-3. 研究指導系科目

研究指導系科目とは、特定の日時に開講される講義形式科目ではなく、研究室等で指導教員から修士論文作成のための研究指導を受けることで単位認定を行う科目です。論文の進捗状況や内容等により成績評価がなされますので、各学期の履修登録時に、指導教員と研究計画等についてよく話し合うようにしてください。

2-4. 修了要件外の科目について

◇修了要件ではない専門教育科目の履修について

自身の選択したプログラムの修了要件に含まれない修士課程専門教育科目も履修することは可能です（一部科目を除く）。ただし、単位を修得しても修了要件としては認められませんので、研究室での研究活動計画等をよく確認の上、履修するようにしてください。

なお、本学では所属する教育課程以外の教育プログラムを履修できる体制として「大学院副専攻プログラム」「大学院等高度副プログラム」が用意されています。詳細は31ページ「7-2. 横断型教育について」を参照してください。

2-5. 研究指導計画書について

大阪大学大学院医学系研究科の大学院課程では、1年間の研究指導の計画を学生に明示するために研究指導計画書（以下「計画書」という。）を作成することになっています。計画書は学生記入欄と指導教授記入項目がありますので、指導教員と研究計画について十分に相談のうえ、記入してください。

計画書は1年に1枚作成する必要があります。指導教員と学生の双方が適切な方法により参照できるよう、指導教員に記入・作成を依頼してください。2年次の修士論文提出時に併せて2年分の計画書を教務係に提出頂きます（提出時期については、修士論文関係の書類提出の案内と併せて通知予定）。

退学を希望するときは退学願と併せ、退学を希望する年度までの計画書を併せて教務係に提出してください。

●「実験医科学プログラム」の必修科目について

※ 実験医科学プログラム選択者のみ要参照（他プログラム生は各自で要確認）

◇機器セミナー（1年次）

日程：令和8年4月13日（月）～17日（金）

実験機器の特性等について学ぶセミナーです。すべての講義に出席し、レポート（講義のサマリー及び感想）を提出することで成績評価がなされます（講義内のアンケートとは異なります）。

月～木曜日の機器セミナーはハイブリッド形式で実施されますが、実験医科学プログラムの学生は会場でのオンサイト参加必須です。また、金曜日午前の共通機器施設見学ツアーも参加必須になります。

講義内容等、詳細については4月3日（金）開催の医学系研究科ガイダンスの際にお知らせします。

授業科目名	単位数	提出が必要なレポート数
機器セミナー	1	4コマ分

提出締切：令和8年5月7日（木）17時

提出先：医学系研究科教務係窓口

◇系別セミナーレポート（1～2年次）

修士課程在学中の2年間に学内外で開催されるセミナーを任意に選び20回以上受講し、セミナーレポートを作成して提出します。多様な研究分野に興味を持ち、学んでもらいたいという意図のため、様々なセミナーに積極的に参加してください。なお、参加するセミナーが系別セミナーに含まれるかは、指導教員の判断を仰いでください。

教務課教務係で把握したセミナー情報については、毎月2回、第2・4水曜日に各研究室事務室宛にメール配信します。

※博士課程研究発表会は教員等が行うセミナーと同一とは考えられないため、原則系別セミナーには認められません。

※提出されたレポートの評価は、研究指導系科目である「実験医科学セミナーⅣ」の科目評価に含まれます。

授業科目名	単位数	提出が必要なレポート数
実験医科学セミナーⅣ	4	20回分以上

提出締切：2年次の11月末日

提出先：自身の指導教員（教務係へは不要）

◇医科学特論Ⅰ、医科学特論Ⅱ（2年次）

医学系研究科のみならず、生命機能研究科、薬学研究科、微生物病研究所等幅広い研究科の教員が英語で最先端の研究について講義を行います。

「医科学特論Ⅰ」では、4～6月開講の講義（1講義1コマ）を12回受講します。

「医科学特論Ⅱ」では、10～11月に開講する講義の内4講義（1講義4コマ）以上を選択し、受講します。成績は出席とレポートで評価されます。

詳細は各科目のシラバスに掲載しますので、2年次進級時に必ず確認してください。

授業科目名	単位数	提出が必要なレポート数
医科学特論Ⅰ	2	6講義分
医科学特論Ⅱ	2	3講義分（受講は4講義以上必要）

医科学特論Ⅰ：詳細については履修前に自身でシラバスを確認すること

医科学特論Ⅱ：詳細については8～9月に教務係から通知予定

3. 履修方法、大阪大学学務情報システム（KOAN）について

3-1. 授業科目の履修について

授業科目を受講するためには、授業毎に履修登録を行う必要があります。履修登録は大阪大学学務情報システム（KOAN）により行います。履修登録が行われていないと、授業の単位を修得することができませんので、必ず期間内に履修登録を行ってください。

必修科目は教務係で履修登録をしますので、学生は選択必修と高度教養教育科目等、その他履修を希望する科目の履修登録を、学期ごとに定められた期間内に行ってください。

<令和8年度 授業科目履修登録期間>

開講学期	開講月	履修登録期間
春～夏学期	4月～9月	令和8年4月3日(金)～4月17日(金)
秋～冬学期	10月～3月	令和8年9月14日(月)～10月9日(金)

3-2. 大阪大学学務情報システム（KOAN）について

履修登録や成績確認、シラバスの参照等の学務に関わる事柄は、大阪大学学務情報システム（KOAN）から Web 上で行っていただきます。

KOANには学外からもアクセスすることができますが、ログインするには医学系研究科ガイダンスの際に配付する大阪大学個人IDおよびパスワードが必要です。

* KOANの主な機能

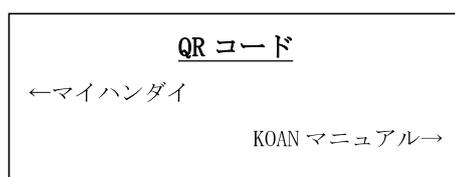
履修登録および確認 / 成績確認 / シラバスの参照 /
学籍情報（住所、電話番号、メールアドレス等）の変更 / 電子掲示板 など

【アクセス方法】

マイハンダイ (<https://my.osaka-u.ac.jp/>) からログインできます。

【入力・操作方法】

KOANマニュアル (<https://my.osaka-u.ac.jp/koan>) をご確認ください。



4. 履修コース・プログラム、所属研究室について

4-1. 履修コース・プログラムについて

「医科学コース」、「未来臨床科学コース」、「公衆衛生学コース」及び「死因究明学コース」の4つのコース毎に、それぞれ修了要件の異なる履修プログラムが組みられています。(各プログラムの修了要件は3～11ページ参照)

4-2. プログラムと所属研究室について

学生は自身の所属する研究室に関連するプログラムを履修します。

プログラム・関連研究室一覧

コース名	プログラム名	プログラム担当教員	所属研究室
医科学	実験医科学	林 克彦 (生殖遺伝学)	医学系研究科の各講座 (以下の研究室以外に所属の学生) ※1
	臨床データ研究	武田 理宏 (医療情報学)	医療情報学 ※2
未来臨床科学	スポーツ医科学研究	柳澤 琢史 (神経情報学)	神経情報学
公衆衛生学	公衆衛生学	川崎 良 (公衆衛生学)	公衆衛生学
	医学統計	服部 聡 (医学統計学)	医学統計学、 医療データ科学 (共研)
死因究明学	死因究明学	松本 博志 (法医学)	法医学

※1 特定講座・連携大学院講座を除く。

※2 実験医科学プログラムも選択可能

5. 学位の取得について

学位取得までのスケジュール【2年次】

- 6月 論文発表会開催日程の通知
〔 論文発表会は例年2月上旬の約1週間で行われています。日程の連絡とともに論文審査に必要な書類の提出期限等のアウトラインについて通知します。 〕
⇓
- 10月 修士論文等の提出についての通知
〔 論文提出に係る通知を提出書類の様式とともに送付します。 〕
⇓
- 11月中旬 主査・副査候補者の推薦書および論文概要等の提出
⇓
- 1月中旬 学位申請書および修士論文の提出
⇓
- 2月上旬 修士論文発表会
⇓
- 2月中旬 審査報告書提出
⇓
- 3月 学位授与判定・学位授与

修士論文の審査及び最終試験に関する申し合せ

昭和 54 年 12 月 13 日 決定
昭和 55 年 11 月 27 日 改正
平成 21 年 4 月 9 日 改正
平成 26 年 11 月 11 日 改正
令和 2 年 12 月 10 日 改正

論文発表会について

1. 目的

論文発表会（以下「発表会」という。）は、修士論文の内容やそれに関連する事項に対する学生の理解力および説明能力を評価するために行う。

2. 発表会の運営

- (1) 発表会は、原則として主査及び副査の出席のもとに開かれる。
- (2) 発表に伴う時間は、一人 30 分以内とする。（発表 20 分、質疑 10 分）
発表会の司会は、原則として主査が行う。

3. 論文発表手続き

- (1) 主査・副査候補者の推薦書、論文概要の提出期限は、第 2 学年の 1 月中旬とする。
- (2) 学位申請書、修士論文の提出期限は、第 2 学年の 1 月中旬とする。
- (3) 全ての手続きは所定の様式を使用し、研究科長に提出する。
- (4) 論文発表会は、第 2 学年の 2 月上旬とする。不合格者に対する再発表会は、第 2 学年の 2 月下旬とする。
- (5) 審査報告書の提出期限は、発表会終了後概ね 1 週間以内とする。

論文審査について

1. 審査委員会

- (1) 審査委員会は、医学系研究科関連教室所属教員の中から主査 1 名、副査 2 名をもって構成する。
- (2) 審査委員の選定は、所属教室教授が主査（1 名）・副査（3 名）を博士号資格審査委員会に推薦し、博士号資格審査委員会が主査（1 名）・副査（2 名）を決定する。
- (3) 博士号資格審査委員会で決定された主査は、副査と連絡を取り、論文発表会の日程調整を行い、論文発表会の日時を決定する。

2. 合否判定

- (1) 修士論文の審査及び最終試験は審査委員会が行う。
- (2) 最終試験の評価は、審査委員が発表会に同席し、発表内容や関連する事項につき試問し

た結果に基づいて判定する。

- (3) 副査は、論文審査及び最終試験の結果を点数で評価し、研究科長に書面をもって報告する。
- (4) 副査1名あたりの評価点は、論文内容 20 点、研究発表能力 15 点、質疑応答能力 15 点の 50 点満点とし、6 割を合格ラインとする。6 割に満たない場合は再発表とし、副査による合否判定にて評価する。再発表会で合格した場合、副査による評価点合計は 60 点とする。
- (5) 修士論文の審査及び最終試験の合否は、審査委員会の報告に基づき、大学院教務委員会の議を経て、博士課程委員会で決定する。

大阪大学大学院医学系研究科修士課程医科学専攻における学位論文審査基準

本研究科及び各専攻が定める手続きにより提出された修士学位申請論文は、以下の体制及び基準に従って審査する。

1. 審査体制

論文審査に当たる審査委員会を設置する。審査委員会は、教授会において委嘱する3名以上の委員をもって組織し、主査1名、副査2名以上を置くものとする。主査及び副査になれる者は次のとおりとする。なお、本研究科教授会において審査のために必要があると認めるときは、他の大学院等の教員等の協力を得ることができる。

主査になれる者は、当該論文内容の専門分野と関係の深い学術領域に精通し、学術的な視点からの修士論文の審査等全てが円滑に進むよう統括できる者とする。

副査になれる者は、当該論文内容の専門分野と関係の深い学術領域に精通し、審査において専門的な意見を述べる者とする。

2. 審査の方法

学位論文の審査においては、当該論文の内容に関する発表会を実施する。また、学位申請者は、以下の論文評価の各項目について、主査と副査による査読、及び口頭試問を受ける。なお、当該論文内容の特性を反映した評価項目を追加することができる。

3. 評価項目及び基準

医科学コース

○論文内容

- ・研究倫理を順守している。
- ・幅広い医学の基礎知識と、最先端の医学研究に裏付けられた医科学に関する内容である。
- ・得られた研究データや解析結果を正しく評価し、結論を導いている。
- ・得られた結果と課題について考察できている。
- ・論文が論理的で且つ、わかりやすく構成されている。

○研究発表能力

- ・プレゼンテーションの資料が適切である。
- ・発表が論理的で且つ、わかりやすく構成されている。
- ・研究における成果や課題について、適切な表現で発表できる。

○質疑応答能力

- ・ 質問の内容を理解し、幅広い医学の基礎知識と研究課題に対する専門性の高い知識に裏付けられた適切な回答ができる。
- ・ 自分の考えを的確に伝えることができるコミュニケーション能力を有している。

未来臨床科学コース

○論文内容

- ・ 研究倫理を順守している。
- ・ 幅広い医学の基礎知識と、最先端の医学研究に裏付けられた未来臨床科学に関する内容である。
- ・ 得られた研究データや解析結果を正しく評価し、結論を導いている。
- ・ 得られた結果と課題について考察できている。
- ・ 論文が論理的で且つ、わかりやすく構成されている。

○研究発表能力

- ・ プレゼンテーションの資料が適切である。
- ・ 発表が論理的で且つ、わかりやすく構成されている。
- ・ 研究における成果や課題について、適切な表現で発表できる。

○質疑応答能力

- ・ 質問の内容を理解し、幅広い医学の基礎知識と研究課題に対する専門性の高い知識に裏付けられた適切な回答ができる。
- ・ 自分の考えを的確に伝えることができるコミュニケーション能力を有している。

公衆衛生学コース

○論文内容

- ・ 研究倫理を順守している。
- ・ 幅広い医学の基礎知識と、最先端の医学研究に裏付けられた公衆衛生学に関する内容である。
- ・ 得られた研究データや解析結果を正しく評価し、結論を導いている。
- ・ 得られた結果と課題について考察できている。
- ・ 論文が論理的で且つ、わかりやすく構成されている。

○研究発表能力

- ・ プレゼンテーションの資料が適切である。
- ・ 発表が論理的で且つ、わかりやすく構成されている。
- ・ 研究における成果や課題について、適切な表現で発表できる。

○質疑応答能力

- ・ 質問の内容を理解し、幅広い医学の基礎知識と研究課題に対する専門性の高い知識に裏付けられた適切な回答ができる。
- ・ 自分の考えを的確に伝えることができるコミュニケーション能力を有している。

死因究明学コース

○論文内容

- ・ 研究倫理を順守している。
- ・ 幅広い医学の基礎知識と、最先端の医学研究に裏付けられた死因究明学に関する内容である。
- ・ 得られた研究データや解析結果を正しく評価し、結論を導いている。
- ・ 得られた結果と課題について考察できている。
- ・ 論文が論理的で且つ、わかりやすく構成されている。

○研究発表能力

- ・ プレゼンテーションの資料が適切である。
- ・ 発表が論理的で且つ、わかりやすく構成されている。
- ・ 研究における成果や課題について、適切な表現で発表できる。

○質疑応答能力

- ・ 質問の内容を理解し、幅広い医学の基礎知識と研究課題に対する専門性の高い知識に裏付けられた適切な回答ができる。
- ・ 自分の考えを的確に伝えることができるコミュニケーション能力を有している。

4. 学位論文が満たすべき水準

上記のコース毎に規定する評価項目を全て満たす場合、修士論文として合格とする。

6. 修士課程1年次 必修科目時間割

令和8年度 修士課程1年次 必修科目時間割表

		時限	開始	終了	3月30日	4月6日	4月13日	4月20日
月	1	1	9:10	10:00	/	医科学概論Ⅰ	医科学概論Ⅱ	医科学概論Ⅱ
	2	2	10:10	11:00				
	3	3	11:10	12:00				
	4	4	13:00	13:50				
	5	5	14:00	14:50				
	6	6	15:00	15:50			機器セミナー (※)	
		時限	開始	終了	3月31日	4月7日	4月14日	4月21日
火	1	1	9:10	10:00	/	医科学概論Ⅰ	医科学概論Ⅱ	医科学概論Ⅱ
	2	2	10:10	11:00				
	3	3	11:10	12:00				
	4	4	13:00	13:50				
	5	5	14:00	14:50				
	6	6	15:00	15:50			機器セミナー (※)	
		時限	開始	終了	4月1日	4月8日	4月15日	4月22日
水	1	1	9:10	10:00	/	医科学概論Ⅰ	医科学概論Ⅱ	/
	2	2	10:10	11:00				
	3	3	11:10	12:00				
	4	4	13:00	13:50				
	5	5	14:00	14:50				
	6	6	15:00	15:50			機器セミナー (※)	
		時限	開始	終了	4月2日	4月9日	4月16日	4月23日
木	1	1	9:10	10:00	大阪大学入学式	医科学概論Ⅰ	医科学概論Ⅱ	/
	2	2	10:10	11:00				
	3	3	11:10	12:00				
	4	4	13:00	13:50				
	5	5	14:00	14:50				
	6	6	15:00	15:50			機器セミナー (※)	
		時限	開始	終了	4月3日	4月10日	4月17日	4月24日
金	1	1	9:10	10:00	大学院入学式 大学院共通講義 (研究倫理・安全 教育) 修士課程オリエン テーション	医科学概論Ⅱ	機器セミナー (※) (9:15~17:00)	/
	2	2	10:10	11:00				
	3	3	11:10	12:00				
	4	4	13:00	13:50				
	5	5	14:00	14:50				
	6	6	15:00	15:50				

※機器セミナーは実験医科学プログラム所属学生のみ必修

* 未来医療センター見学実習 5月7、14、21日(木)のいずれか1日 ※参加日程は後日通知

* 人体系統解剖学実習 12月7日(月) ※事前にCLEにてWEB講義を要受講

医科学概論 I

(時間割コード：25P001)

講義番号	月日	曜日	時限	時間	大講座	令和8年度担当教室	令和8年度担当教員	場所
I-0	4.3	金	—	9:30~12:00	大学院入学式 大学院共通講義 (研究倫理・安全教育)	—	—	A 講堂
				13:30~14:30	修士課程オリエンテーション	—	—	
I-1	4.6	月	1	9:10~12:00	解剖学	旧第2解剖学	和氣 弘明	第2講義室 (医学部講義棟 2階)
			2			細胞生物学	原田 彰宏	
			3			分子神経科学	山下 俊英	
I-2			4	13:00~15:50	生化学・分子生物学	医化学	高島 成二	
			5			医化学	高島 成二	
			6			医化学	高島 成二	
I-3	4.7	火	1	9:10~12:00	ゲノム生物学	がんゲノム情報学	谷内田 真一	
			2			生殖遺伝学	林 克彦	
			3			神経遺伝子学	河原 行郎	
I-4			4	13:00~15:50	病理学	がん病理学	井上 大地	
			5			がん病理学	井上 大地	
			6			がん病理学	井上 大地	
I-5	4.8	水	1	9:10~12:00	薬理学	環境応答薬理学	鈴木 一博	
			2			統合薬理学	日比野 浩	
			3			統合薬理学	稲野辺 厚	
I-6			4	13:00~15:50	生理学	統合生理学	大河内 善史	
			5			統合生理学	大河内 善史	
			6			統合生理学	三好 智満	
I-7	4.9	木	1~3	9:10~12:00	社会医学	法医学	松本 博志	
			4	13:00~15:50	感染症・免疫学	公衆衛生学	川崎 良	
免疫制御学						竹田 潔		
免疫細胞生物学						石井 優		
生体防御学						茂呂 和世		

I-9	5.7	木	13:30~15:30	未来医療センター 見学実習 (※)	未来医療センター	山岸 義晃	最先端医療イノベーションセンター棟4階 0411室 (会議室A)
	5.14	木	13:30~15:30			井上 隆弘	
	5.21	木	13:30~15:30			平山 龍一	

※学年を3グループに分けて、各日10名程度での見学実習を予定

医科学概論Ⅱ

(時間割コード：25P002)

講義番号	月日	曜日	時限	時間	テーマ	担当教室	令和8年度担当教員	場所
Ⅱ-1	4.10	金	1	9:10~10:00	呼吸器疾患とアレルギー疾患	呼吸器・免疫内科学	平田 陽彦	第2講義室 (医学部講義棟 2階)
Ⅱ-2			2	10:10~11:00	老年医学	老年・総合内科学	武田 朱公	
Ⅱ-3			3	11:10~12:00	乳腺疾患	乳腺・内分泌外科学	草田 義昭	
Ⅱ-4			4	13:00~13:50	循環器疾患	循環器内科学	木岡 秀隆	
Ⅱ-5			5	14:00~14:50		心臓血管外科学	矢嶋 真心	
Ⅱ-6			6	15:00~15:50	内分泌・代謝疾患	内分泌・代謝内科学	長尾 博文	
Ⅱ-7	4.13	月	1	9:10~10:00	呼吸器疾患と感染	呼吸器外科学	木村 亨	
Ⅱ-8			2	10:10~11:00		感染制御学	豊川 貴生	
Ⅱ-9			3	11:10~12:00	血液疾患	血液・腫瘍内科学	植田 康敬	
Ⅱ-10	4.14	火	1	9:10~10:00	消化器疾患	消化器外科学Ⅰ・Ⅱ	植村 守	
Ⅱ-11			2	10:10~11:00	感覚器疾患と運動系疾患	眼科学	小林 礼子	
Ⅱ-12			3	11:10~12:00	腎・泌尿生殖器疾患	産科学婦人科学	松崎 慎哉	
Ⅱ-13	4.15	水	1	9:10~10:00	腎・泌尿生殖器疾患	腎臓内科学	猪阪 善隆	
Ⅱ-14			2	10:10~11:00	消化器疾患	消化器内科学	齋藤 義修	
Ⅱ-15			3	11:10~12:00	麻酔・ICU	麻酔・集中治療医学	井浦 晃	
Ⅱ-16	4.16	木	1	9:10~10:00	放射線医学	放射線医学	有澤 亜津子	
Ⅱ-17			2	10:10~11:00		放射線治療学	林 和彦	
Ⅱ-18			3	11:10~12:00		核医学	加藤 弘樹	
Ⅱ-19	4.20	月	1	9:10~10:00	感覚器疾患と運動系疾患	耳鼻咽喉科・頭頸部外科学	津田 武	
Ⅱ-20			2	10:10~11:00	医の倫理と公共政策学	公衆衛生学	磯野 萌子	
Ⅱ-21			3	11:10~12:00	感覚器疾患と運動系疾患	整形外科	古家 雅之	
Ⅱ-22			4	13:00~13:50	精神・神経疾患	神経内科学	奥野 龍禎	
Ⅱ-23			5	14:00~14:50		精神医学	吉山 顕次	
Ⅱ-24			6	15:00~15:50		脳神経外科学	細見 晃一	
Ⅱ-25	4.21	火	1	9:10~10:00	皮膚疾患	皮膚科学	植田 郁子	
Ⅱ-26			2	10:10~11:00	小児疾患	小児科学	石田 秀和	
Ⅱ-27			3	11:10~12:00	救急医療	救急医学	片山 祐介	
Ⅱ-28			4	13:00~13:50	腎・泌尿生殖器疾患	泌尿器科学	河嶋 厚成	
Ⅱ-29			5	14:00~14:50	皮膚疾患	形成外科学	黒田 一也	
Ⅱ-30			6	15:00~15:50	小児疾患	小児成育外科学	中島 賢吾	

人体系統解剖学実習

(時間割コード: 25PA03)

講義番号	月日	曜日	時限	時間	テーマ	担当教室	場所
1	日時指定なし 11月末までに講義がCLEにアップロードされるため、系統解剖学実習前に必ず視聴し学習すること				【実習前講義】 系統解剖学	神経機能形態学 (録画視聴)	CLE (WEB講義)
2							
3							
4						細胞生物学 (録画視聴)	
5							
6							
7	12.7	月	1	9:10~ 11:00	系統解剖学実習	神経機能形態学	系統解剖学実習室
8			2				
9			3	11:10~ 12:00/ 13:00~ 13:50		細胞生物学	
10			4				
11			5	14:00~ 15:50		分子神経科学	
12			6				

※系統解剖学実習室：共同研究棟1階

教室名	担当教員
神経機能形態学 (旧)	和氣 弘明 教授 岡 雄一郎 講師
細胞生物学	原田 彰宏 教授 吉村 信一郎 講師 鷺見 拓哉 助教 呉 際 助教
分子神経科学	山下 俊英 教授 澁谷 直 准教授 依藤 依代 助教 古宮 健至 助教

◆解剖学実習について◆

【服装】 汚れても構わない服

【持参物】 白衣、サンダル、実習用の帽子・手袋・マスク (使い捨ての簡易なもので良い)

【あれば便利な物】 アームカバー、前掛け (必ずしも必要ではありません)

【注意事項】 解剖学実習は見学のみですので、メス、ピンセット、はさみ等を使い解剖することはありません。

7-1. 大阪大学の大学院教育システム

学際融合・社会連携を指向した双翼型大学院教育システム Double-Wing Academic Architecture

大学院教育システム構築の背景と目的

現代社会には、SDGs に代表される様々な課題が数多く存在します。こうした複雑な社会課題を解決するには、それぞれのコアとなる専門的知見に加えて、広い視野から課題を多角的に捉え、多様なステークホルダーと柔軟に協働する力が求められます。

このような社会背景を踏まえて、大阪大学では、大学院での学びを皆さん自身がデザインすることができる新しい大学院教育システム「学際融合・社会連携を指向した双翼型大学院教育システム” Double-Wing Academic Architecture”（以下「DWAA」という。）」を推進しています。

DWAA の考え方

DWAA は、研究科・専攻等における専門分野の教育（「知の探究」型教育）に加え、専門分野のコアの修得を前提として、新たに「知と知の融合」「社会と知の統合」の二つの方向に教育を広げていく点が特徴です。

知の探究

これまでの学術編成を尊重し専門分野を深め、専門家を育成する教育

従来の学術編成に基づいた研究科の専門分野における深い知識や高い技術を保持する人材を育成する教育です。

知と知の融合

いくつかの異なる学問・研究分野からなる複合領域を学修する教育

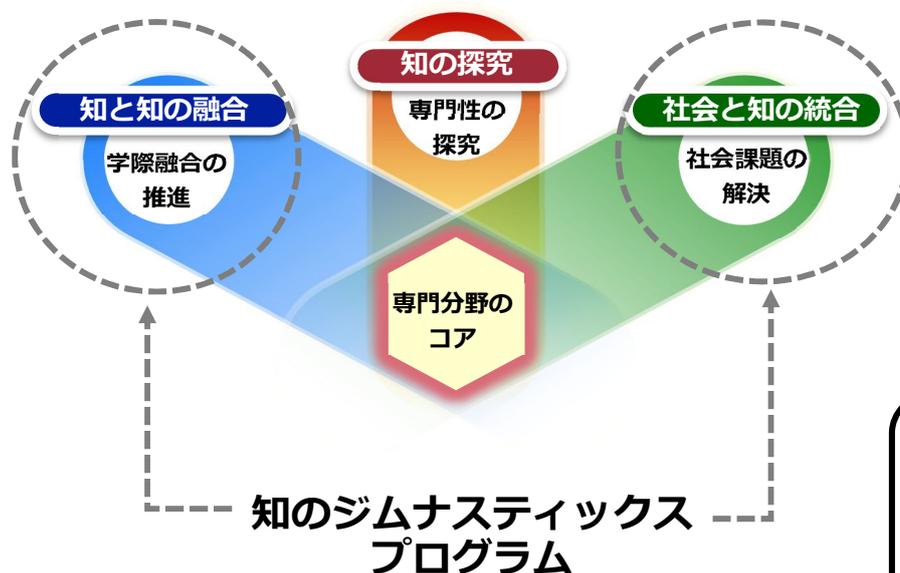
異なる分野にも視野を向け知的地平を広げられる教育を指します。新たな知識や技術の組み合わせを試みる創造的な活動を促進します。

社会と知の統合

社会課題に対する解決に向けての実践的な取り組みを通じて学修する教育

社会の様々なステークホルダーとともに解決すべき課題を発見して解決方法を創造し、さらに社会に実装することができる能力を育成します。授業の中で、社会課題の解決に実践的に取り組む機会を提供し、異なる背景を持った人々と意思疎通を図る能力や社会を変えようとする過程で直面する困難を乗り越える力量を身につけます。授業によっては、学外（社会、企業等）との接点を持った取組み等も含まれます。

学際融合・社会連携を指向した双翼型大学院教育システム (Double-Wing Academic Architecture)



知のジムナスティックスプログラムとは

この DWAA の考え方に基づき、「知と知の融合」「社会と知の統合」の二つの学際領域に分類される高度教養教育の教育プログラムを総称して「知のジムナスティックスプログラム」と呼び、専門分野の深化を目指す従来の大学院教育と併せて履修を推進しています。

大阪大学で展開している教育プログラムは以下のとおりです。

教育プログラムの詳細はこちら→



7-2. 横断型教育について

■大学院副専攻プログラム、大学院等高度副プログラムについて

大阪大学では、大学院教育における高度教養教育の更なる展開に向けて導入された「学際融合・社会連携を指向した双翼型大学院教育システム (Double-Wing Academic Architecture, DWAA)」を推進しており、その一環として、大学院に入学した学生を中心に、学生が所属する主専攻の教育課程以外の教育プログラムを履修できる「**大学院副専攻プログラム**」、「**大学院等高度副プログラム**」を提供しています。

「主専攻の学修と並行して、用意されたプログラム科目を効果的に受講することで、学際的・俯瞰的な視点や複眼的視野を養うことを目的としています。

どちらのプログラムも、教育目標に沿った一定のまとまりのある授業科目で構成されており、各プログラムが定める要件を満たすことで、当該プログラムの修了認定証が交付されます。

なお、2026年度は「大学院副専攻プログラム」24プログラム、「大学院等高度副プログラム」51プログラムが実施されます。

また、「大学院等高度副プログラム」のうち、一部のプログラムは「**大学院科目等履修生高度プログラム**」として、社会人に対しても提供されています。

各プログラムの詳細については、以下のURLもしくはQRコードからご参照ください。

※大学院の新入生にはプログラムのパンフレットを別途配布します。

詳細についてはQRコードからご参照ください。

<https://itgp.osaka-u.ac.jp/program/program-category/fukupro/>



■高度教養モジュールについて

高度教養モジュールとは、特定のテーマについて学修する機会を提供するため、従来の大学院副専攻プログラムや大学院等高度副プログラムより要件単位数を減らしつつも、科目間に関連付けを持たせた科目群制度です。副専攻プログラム・高度副プログラム履修の第一歩として大学院生の皆さんの履修をお待ちしております。

詳細についてはQRコードからご参照ください。

<https://itgp.osaka-u.ac.jp/program/program-category/module/>



■学際融合教育科目について

本学における横断型教育（学部・研究科の枠を超えた学び）の、より一層の充実を目指して、複眼的視野を涵養するための授業科目として「**学際融合教育科目**」を設置しています。

学際融合教育科目は、全学の大学院学生に開講していますので、興味のある方は是非履修してみてください。

※学際融合教育科目は、大学院横断教育科目の科目区分の一つとして開講しています。

詳細については、それぞれのシラバスを参照してください。

※履修登録は、全学で統一された「他部局科目の履修登録期間」内にKOAN（学務情報システム）から行ってください（<https://koan.osaka-u.ac.jp>）。

※大学院横断教育科目の単位認定についての取り扱いは、研究科によって対応が異なります。修了要件への算入可否については、事前に指導教員や所属研究科の教務担当窓口に確認してください。

詳細については、QRコードからご参照ください。

https://itgp.osaka-u.ac.jp/program/advanced_5939/



8. コミュニケーションデザイン科目及びCOデザイン科目について

■教育プログラムの目的

大阪大学は、高等教育における新しい教育の目標として〈高度汎用力〉の育成を掲げています。COデザインセンターは人をつなぎ、知識をつなぎながら、ともに創出する力を身につけるための学部・研究科横断型の新しい高度教養・高度汎用力育成プログラムの研究開発と教育にあたっています。

「コミュニケーションデザイン科目」は、対話することを通して、課題を発見し、ともにその解決をめざし、社会のなかで実践するための基礎的な教育プログラムとして学部生、大学院生を対象に開講されています。

また、「COデザイン科目」は、さまざまな現実の社会課題の解決を目指したアドバンスト・プログラムとして、より系統的に社会実践力を修養するための科目群として大学院学生を対象に開かれています。

■コミュニケーションデザイン科目及びCOデザイン科目の修得単位について

コミュニケーションデザイン科目及びCOデザイン科目が修了要件単位に算入できるか否かについては、各研究科によって取り扱いが異なりますので、履修に際しては、事前に指導教員や所属研究科の教務担当窓口に必ず相談してください。

■履修手続方法について

コミュニケーションデザイン科目とCOデザイン科目の履修登録は、全学で統一された「他部局科目の履修登録期間」内にKOAN（学務情報システム）から行ってください（<https://koan.osaka-u.ac.jp>）。

9. 授業料及び奨学金について

9-1. 授業料の納付について

- (1) 授業料は所定の期間内に納付することになっています。本学では納付者の利便性を考慮して、学生名義の銀行預金口座から振替により納付する「授業料口座振替制度」を採用しています。
- (2) やむを得ず口座振替手続きが出来ない方については、授業料振込依頼書（前期分は5月上旬、後期分は11月上旬に発送）により納付してください。この場合の振込手数料は振込者負担とします。
- (3) 所定の期日までに納付を完了しない場合には、本人および保証人に督促を行い、相当期間を経過してもなお納付されない場合は、除籍されることとなりますので十分注意してください（年度末において完納されていない場合は、全て除籍の対象となります）。
- (4) 授業料の納付が困難な学生に対しては、大阪大学授業料免除規定により免除される道が開かれていますので、次項「授業料免除について」を参照してください。
- (5) 休学する場合の取扱いについては、前期又は後期の始めから休学するときは、その学期の授業料は免除されますが、学期の途中から休学するときは、その学期の分は徴収されます（月割での納付については(6)を参照）。
- (6) 学期途中で退学又は休学する場合の授業料については、月割で納付できる場合があります。前期途中で退学又は休学する場合は4月中、後期途中で退学又は休学する場合は10月中に、在籍する月数分の授業料を納付する必要があります。
ただし、退学又は休学の手続きは、それ以前に行っておく必要がありますのでご注意ください。

9-2. 授業料の免除について

修学援助の一環として、経済的理由により授業料の納入が困難であり、学力基準を満たす方を対象に、本人の申請に基づき選考のうえ、予算の範囲内で授業料の全額又は半額の免除、収納猶予、及び授業料分納を認める制度があります。

詳細は、下記までお問い合わせください。

【問い合わせ先】

吹田学生センター（IC ホール1階） 授業料免除担当

E-mail : gakusei-sien-en1@office.osaka-u.ac.jp

【ホームページ】

<https://www.osaka-u.ac.jp/ja/guide/student/tuition/remission>



9-3. 日本学生支援機構第一種・第二種奨学金（外国人留学生を除く）について〈貸与型〉

日本学生支援機構（以下、「機構」という）奨学金は、勉学に励む意欲があり、またそれにふさわしい能力を持った学生が経済的理由により修学をあきらめることのないように支援する制度です。貸与奨学金は返還（返済）の義務があり、必ず返還しなければなりません。給付奨学金は原則として返還の義務はありません。

1. 貸与奨学金について

【貸与】

（2025年12月時点）

奨学金の種類		貸与月額		
大学 (学部)	第一種奨学金 (無利子)	自宅通学	20,000円、30,000円、45,000円から選択	
		自宅外通学	20,000円、30,000円、 <u>40,000円</u> 、51,000円から選択	
	第二種奨学金 (有利子)	20,000円～120,000円（10,000円単位）から選択		
大学院	第一種奨学金 (無利子)	博士前期（修士）課程	50,000円、88,000円から選択	
			授業料 後払い制度	年間の授業料相当額（年額535,800円上限）
	博士後期（博士）課程	80,000円、122,000円から選択		
	第二種奨学金 (有利子)	50,000円、80,000円、100,000円、130,000円 150,000円から選択		

（注①）下線付きの月額は、2018年度以降の入学者のみ選択可能な月額です。2017年度以前入学者は選択できません。

（注②）大学（学部）の四角で囲んだ月額(最高月額)については、機構の審査により希望する月額で貸与が認められず、最高月額以外での貸与となる場合があります。

（注③）第二種奨学金は、貸与終了後に利子を附加した額を返還することになります。なお、貸与終了時に決定した利率を返還完了まで適用する方式と、貸与終了時から概ね5年ごとに利率を見直す方式のどちらか一方を選択できます。（いずれの方式も利率の上限は年3%）

（注④）大学（学部）で、第一種奨学金と次頁の「給付奨学金」の両方の奨学生となる場合は、給付奨学金の支援区分により第一種奨学金の貸与月額が上表と異なる場合があります（併給調整；次頁の注⑩）

（注⑤）大学院において第一種奨学金の貸与を受けた方で、在学中に特に優れた業績を挙げた方として認定された場合、奨学金の返還が免除される制度があります。

（注⑥）高等司法研究科の方で第二種奨学金150,000円を選択した場合、40,000円又は70,000円の増額貸与を受けることができます。

（注⑦）授業料後払い制度では、年間の授業料相当額の「授業料支援金」に加えて、月額20,000円又は40,000円の「生活費奨学金」の貸与を希望することができます

【募集情報（大阪大学ウェブサイト）】

<https://www.osaka-u.ac.jp/ja/campus/tuition/scholar/jasso/recruit>



【給付】

給付奨学金は、「学部生」のみが対象です。大学院生は申請できません。

※奨学金制度や手続きに関する問い合わせは、日本学生支援機構奨学金相談センターまで

＜奨学金相談センター＞：0570-666-301（平日9時00分～20時00分）

2. 奨学金の申請について

入学前に「予約採用」で採用候補者となった場合や、入学後に新規で申請したい場合の必要手続きや期限の詳細は、3月下旬頃に本学ウェブサイトに掲載します。

貸与奨学金、給付奨学金でそれぞれ手続きが異なります。上記「1」「2」に記載した URL または QR コードから該当する募集情報を確認して、所定の方法により期限までに手続きを行ってください。

3. 問合せ先

豊中学生センター奨学金担当（豊中キャンパス学生交流棟2階）

※お問い合わせは大阪大学ウェブサイトの問合せフォームをご利用ください。

https://www.osaka-u.ac.jp/ja/campus/tuition/scholar/jasso/form_recruit



9-4. 地方公共団体及び民間奨学団体奨学金（外国人留学生を除く）について

地方公共団体及び民間奨学団体奨学会による奨学金（以下、「各種奨学金」という。）は、学業、人物ともに優れ、かつ、経済的理由により学資の支弁が困難と認められる学生に給与もしくは貸与される制度です。

しかし、このような条件を備えていても、推薦人数に限りがあり、またそれぞれの奨学会での推薦基準があるため、必ずしも申請者全員が採用されるとは限りません。

また、民間奨学団体等奨学会の奨学生に採用されると、在学中のみならず卒業後も民間奨学団体等との関係は続きます。大阪大学から推薦されたという自覚を持ち、向学心をさらに高め、交流会、面談、研修会への出席や、生活状況調書、成績表、奨学金受領書の提出など、奨学生としての義務を果たさなければなりません。これらの義務を怠った場合、辞退や採用取り消しとなる場合もありますので、申請者本人が奨学生としての義務を果たせるかどうか十分に考慮の上、申請してください。

学生センターで取り扱っている各種奨学金は「候補者を選考し大学から推薦する奨学金」と「希望者が直接出願する奨学金」があります。

注：下記ホームページに載っている奨学金は、外国人留学生は対象となりません。外国人留学生の奨学金及び海外留学に関する奨学金については、国際部国際学生交流課にお問い合わせください。

大学に募集案内があった場合、その都度KOAN掲示板にてお知らせします。地方公共団体奨学金については、本学に募集案内が来ない場合があるので、直接、出身地等の教育委員会等へ照会してください。

【窓口】

吹田学生センター（IC ホール1階）

E-mail: gakusei-sien-enl@office.osaka-u.ac.jp



【ホームページ】

大阪大学 HP > 学生生活・学生支援 > 授業料・授業料免除・奨学金等 > 奨学金

<https://www.osaka-u.ac.jp/ja/guide/student/tuition/scholar>



10. 健康管理及び安全について

10-1. 健康管理について

(1) 定期健康診断

毎年、4月または5月の指定日に一般定期健康診断が実施されますので、必ず受検してください。この定期健康診断を受検した者については、その年度内に限り、証明書自動発行機により、健康診断書の発行ができます。

なお、本学学生は大阪大学健康診断規程第3条に基づき健康診断の受診義務があり、健康診断を受けなかった学生は6月末までに健康診断と同等の実施項目を含む健康診断証明書を提出する必要があります。

1年次生については4月初旬の大学院医学系研究科ガイダンス開催時、また KOAN 掲示板にて案内します。

(2) キャンパスライフ健康支援・相談センターについて

キャンパスライフ健康支援・相談センターでは診察業務、健康相談、学生相談も行っています。詳細についてはホームページをご覧ください。

【大阪大学キャンパスライフ健康支援・相談センターホームページ】

<https://hacc.osaka-u.ac.jp/>



10-2. 大学院生の相談窓口について

本研究科では大学院生の相談窓口を設けています。健康上の問題にとどまらず、学問上や人間関係の悩みなどの相談に応じます。相談には、以下の手続きを取ってください。

- ① 下記の相談員メンバーのうち、希望する相談員と e-mail により連絡を取り、面談予約を取ってください。この時、できれば相談内容、悩みなどについて簡単に e-mail で書くようにしてください。そうすると面談がしやすくなります。
- ② 相談員は面談を行い、大学院生から悩みや問題を聞きます。相談内容については原則として機密性が保たれます。
- ③ 相談員は面談内容を受けて、さらに別の相談員を紹介したり、必要であれば相談員代表者と合議の結果、相談員会議を開催し、問題の解決を図ります。さらに、指導教授との協議のうえ、所属教室の変更などの可能性も考慮します。

相談員メンバーは、医学系研究科ホームページでご確認ください。

【大阪大学大学院医学系研究科ホームページ】

在学生の方へ>博士課程>学生生活>大学院生の相談窓口について

<https://www.med.osaka-u.ac.jp/education/students/doctor-2-2-2/regulations#S9>



10-3. 学生教育研究災害傷害保険について

「学生教育研究災害傷害保険（学研災^{がっけんさい}）」は、国内外における教育研究活動中に学生が被った「けが」に対して補償を提供するために設立された保険制度です。

大阪大学では、全ての対象者がこの保険に加入することとしています。加入がまだの方は、すぐに加入の手続きをとってください。

1. 対象

学部生、大学院生、研究生、聴講生及び科目等履修生（留学生を含む。）

（大学施設を単に利用するだけの研修生は対象となりません。ただし日本学術振興会特別研究員は対象となります。）

2. 保険金の内容

保険金が支払われる 事故の範囲	死亡保険金	後遺障害保険 金	医療保険金	入院加算金
正課中(授業、実験実習、 演習等) 学校行事中	2,000 万円	程度に応じて 120 万円 ～3,000 万円	治療日数 1 日以上が対象 3,000 円～30 万円	1 日につき 4,000 円
通学中 学校施設等相互間の移 動中 大学施設内（課外活動を 除く）	1,000 万円	程度に応じて 60 万円 ～1,500 万円	治療日数 4 日以上が対象 6,000 円～30 万円	1 日につき 4,000 円
公認団体が大学に届け 出た学内外の課外活動 中	1,000 万円	程度に応じて 60 万円 ～1,500 万円	治療日数 14 日以上が対象 3 万円～30 万円	1 日につき 4,000 円

3. 加入方法

《加入方法》

以下の URL を参考に加入手続きを行ってください。

https://osaka-univ.coop/welcome/grad-school/grad-school_808.html



入学日前日までに加入が難しい場合は、「保険の加入手続きは行いません。必要に応じて入学後に保険の加入手続きを行います。」を選択し、入学後に加入手続きを行ってください。

※学研災等の加入には、大阪大学生協生活協同組合の「EC サイト」の登録が必要となります。

※大阪大学生協生活協同組合に加入しなくても学研災等の加入手続きは可能です。

なお、大阪大学生協に加入される方は、「生協加入 WEB」で生協加入手続きをした後に、「大学生協アプリ（公式）」から「EC サイト」の登録をするとスムーズに登録できます。

所属 学年	人文・文・人間・外・法・経・理・医(保健)・薬(創成薬)・工・ 基礎工・言文・国際公共・情報・高等司法*・連合小児		
	学部	大学院 (前期・修士)	大学院 (後期・博士)
1	3,300 円	1,750 円	2,600 円
2	2,600 円	1,000 円	1,750 円
3	1,750 円		1,000 円
4	1,000 円		

所属 学年	医(医・医科)・歯・薬(薬・医療薬)			生命機能
	学部	大学院 (修士医のみ)	大学院 (後期・博士)	大学院 (博士)
1	4,700 円	1,750 円	3,300 円	4,050 円
2	4,050 円	1,000 円	2,600 円	3,300 円
3	3,300 円		1,750 円	2,600 円
4	2,600 円		1,000 円	1,750 円
5	1,750 円			1,000 円
6	1,000 円			

* 高等司法は、別途法科賠保険料を上乗せする。

* 別途 200 円のシステム手数料等がかかりますので、ご注意ください。

《事故の通知》

保険事故が発生したときは、ただちに事故の日時・場所・状況・傷害の程度を事故通知ハガキにより保険会社へ通知する必要があります。事故の日から 30 日以内に通知のない場合は、保険金が支払われないことがあります。

事故通知ハガキは、大学生協の保険窓口に取りに来てください。記入したハガキは、大学生協の保険窓口から保険会社へ送付します。

《保険金の請求》

請求に必要な書類は大学生協の保険窓口で渡します。記入・作成のうえ、大学生協の保険窓口へ提出してください。

※学生教育研究賠償責任保険（学研賠）について

正課・学校行事中やインターンシップ（大学が承認したものに限り）・介護体験活動・教育実習・保育実習及びその往復中に、他人にケガをさせたり、他人の財物を損壊したりしたことによる法律上支払わなければならない損害賠償金を補償する保険です。

学研賠へは、「学研災」へ先に加入していなければ、加入することができません。加入希望者は必ず「学研災」に加入していることを確認のうえ、大学院生は専用サイト（https://osaka-univ.coop/welcome/grad-school/grad-school_808.html）より手続きを行い、コンビニ払いまたはクレジットカード払いで支払いを行ってください。

4. 窓口

豊中生協事務所 （豊中キャンパス豊中福利会館4階）

吹田工学部生協事務所 （吹田キャンパスセンテラス2階）

箕面生協事務所 （箕面キャンパス外国学研究講義棟3階シャンティショップ内）

5. 問い合わせ先

大阪大学 生活協同組合 総務部（豊中福利会館4階） 06-6841-3326

6. ホームページ

在学生の方へ>博士課程>学生生活>学生生活全般>学生教育研究災害傷害保険（学研災）

<https://www.osaka-u.ac.jp/ja/guide/student/general/insurance.html>



10-4. 安全のための手引について

実験実習、課外活動の事故を未然に防止するため、大阪大学安全衛生管理部HP掲載の「安全のための手引」を必ず読んでおいてください。

『安全のための手引』

https://my.osaka-u.ac.jp/admin/safety_hygiene/guideline



1 1. 学生留意事項

1 1-1. 教務課教務係の窓口業務について

【所在地】 講義棟東隣の共通棟1階南側

【窓口業務時間】 月～金曜日（祝日等の休日、年末・年始、夏季休業日の指定日を除く）
8：30～16：30（昼休みの12：00～13：00を除く）

1 1-2. 諸手続き等について

1. 休学する場合【必要書類：休学願+診断書（該当者のみ）】

病気、留学、その他の事由により3ヶ月以上修学を中断する場合は、研究科長の許可を得て休学することができます。

- ・休学期間は在学年数に算入されません。
- ・休学期間は2年を超えることはできません。
- ・休学する場合の授業料の取扱いは、申し出の時期により納付額が異なります（納付時期が前期：5月、後期：11月であるため）。

休学申し出の時期	授業料の取扱い
3月あるいは9月まで	休学月数分の授業料を免除（月割が可能）
4月または10月中	4月、10月分を除き、休学月数分の授業料を免除（月割が可能）
5月または11月以降	当該学期分全額の授業料が発生

- ・上記の期限にかかわらず、原則として休学開始の1ヶ月以上前には手続きをとってください。

2. 退学する場合【必要書類：退学願】

就職その他の事由により修学を中止する場合は、研究科長の許可を得て退学することができます。原則、退学予定日の1ヶ月以上前に願い出て許可を得てください。

- ・当該学期の授業料の納付をもって退学が承認されます。

退学申し出の時期	授業料の取扱い
4月または10月中	4月、10月分の授業料の納付が必要
5月または11月以降	当該学期の授業料が発生

- ・退学日までに学生証を返納してください。

3. 休学後に復学する場合【必要書類：復学願+診断書（該当者のみ）】

休学の事由がなくなり、休学期間の満了前に復学しようとする場合は、復学の前月までに願い出て許可を得てください。（休学期間満了に伴う復学の場合、本手続きは不要です。）

病気等で医師の診断書に基づく休学をした時の復学は、医師の診断書を添えて「復学願」を提出してください。

※復学した月から授業料が発生します。

4. 改姓（改名）・保証人変更等の場合 【必要書類：身上変更届】

転籍（改姓名）等に伴い、学籍情報（KOANに登録されている氏名のデータ等）の変更を希望する場合は、所定の様式により届け出てください。

5. 住所変更等 【必要書類：無 ※KOAN登録変更要】

本人連絡先（住所、電話番号等）に変更が生じた場合は、速やかにKOAN→[学生住所登録]画面より修正してください。[学生住所登録]に登録されている連絡先は、授業料納付等の各種連絡に必要となります。

6. 留学する場合 【必要書類：留学願+休学願（該当者のみ）】

外国の大学へ留学を希望する場合は、教授会での報告が必要ですので可及的速やか（少なくとも3ヶ月前まで）に教務係へ願い出てください。

なお、本学および本研究科では学生の交流協定を締結している外国の大学があり、授業料不徴収の取り決めを交わしている場合があります。ただし、人数や期間に制限があり募集時期も限られるので、早めに教務係へ相談に来てください。

協定を結んでいる大学は、大阪大学のホームページで確認できます。

7. 海外へ渡航する場合（留学含む）

本学では、テロ事件をはじめ災害や感染症の発生など海外で緊急事態が発生した場合に、海外渡航中の学生の皆さんが無事に過ごしておられるどうか安否確認を行っています。

目的に関わらず、海外に渡航する場合は事前に必ず「海外渡航届システム」に登録してください。

また、本学を通じて経済的支援（奨学金等）を受ける渡航者及び本学のプログラムで派遣される渡航者は必ず「留学生危機管理サービス(OSSMA)」に加入してください。

*各種届出様式 掲載場所：

【大阪大学大学院医学系研究科ホームページ】

在学生の方へ>証明書・各種支援・提出様式等>各種様式

<https://www.med.osaka-u.ac.jp/>

*提出先：医学系研究科教務課教務係



11-3. 学生に対する連絡方法等について

学生への連絡・通知・呼び出しは、KOANに登録の個人アドレスへのメール送付、またはKOAN掲示板での掲示により行われます。一度掲示した事項は周知されたものとして取り扱いますので、毎日の登下校の際には必ず掲示板を見る習慣をつけてください。掲示を見落としたために生じる不都合・不利益は学生自身の責任となります。

また、KOANには必ず連絡のつくメールアドレス、電話番号を登録しておくようにしてください。

◎KOAN掲示板《WEB》

マイハンダイ (<https://my.osaka-u.ac.jp/>) からKOANにログインの上、ご確認ください。

※KOANにログイン後、メニューから掲示板を選択してください。

※一部の授業科目では、開講教室のHPに各種通知が掲載される場合があります。

各科目の通知方法等については、シラバスで確認してください。

◎ 学生掲示板（屋外）《場所：講義棟と研究棟の間》

- ・ 重要な掲示物はすべてこの掲示板に掲示します。掲示期間は、原則として3週間とします。
- ・ 掲示板は次のように分かれています。

留学生関係 / 厚生関係（留学生含む） / 博士・修士 / 学部学生

◎ 授業料関係及び学生呼出掲示板《場所：講義棟1階廊下A講堂東側の壁面（共通棟側）》

授業料関係及び学生の掲示は、この掲示板で行います。

11-4. 入退館カードについて

医学系研究科において実験・実習などで夜遅くまで研究室にいる場合や、土曜・日曜・祝日などに研究室へ出入りする場合には、研究棟に時間外に出入り可能な入退館カードが必要となります。希望者は研究室を通して教務課教務係へ申し込んでください。

また、入退館カードは退学・修了等で学籍を失う際に必ず教務課教務係へ返却頂く必要があります。

11-5. 学生証について

学生証は2年間有効ですので、大切に取り扱い、常に携帯してください。また、通学定期乗車券発行控は毎年度当初に更新しますので、教務課教務係で手続きをしてください。

学生証を破損・紛失した場合には再発行手続きが必要ですので、大学本部棟地下1階（吹田学生センター隣の建物）の教育・学生支援部教育企画課学務情報係または豊中学生センターで手続きをしてください。

11-6. 各種証明書の発行について

次の証明書は医学部共通棟1階をはじめキャンパス内にある「証明書自動発行機」で発行できます。ただし、メンテナンス等で臨時に休止することがあります。

(1) 証明書自動発行機による発行

【発行可能な証明書】

証明書の種類	留意事項
在学証明書	
成績証明書	
卒業証明書（学部）／修了証明書（修士）	本学出身者のみ
修了見込証明書	2年次の4月より発行可能。
学割証（学校学生生徒旅客運賃割引証）	
健康診断証明書	個人によって証明書自動発行機から出力されない場合があります。詳細は各キャンパスの保健センターにお問い合わせください。

【証明書自動発行機の設置場所・利用時間】

キャンパス	設置場所	利用時間
吹田キャンパス	吹田学生センター ICホール1階	8:30 ～ 17:00
	医学部共通棟 1階玄関	8:30 ～ 17:00
	工学部管理棟(U1M) 1階教務係窓口横	8:30 ～ 17:00
豊中キャンパス	豊中学生センター 学生交流棟2階ロビー	8:30 ～ 17:00
	全学教育管理・講義A棟 2階教務係前	8:30 ～ 17:00
箕面キャンパス	外国学研究講義棟 2階就職情報コーナー横	8:30 ～ 17:00

※月曜日～金曜日（祝日等の休日、年末・年始、夏季休業日の指定日を除く）

(2) 教務係窓口での発行

証明書自動発行機で発行できない証明書については、教務課教務係にて証明書交付願を記入し、提出してください。

和文証明書は基本的に3、4日での発行となりますが、英文証明書については約1週間かかります。申請時期や証明書の種類により時間を要する場合がありますので、余裕をもって申請してください。

【証明書交付願様式掲載場所】

<https://www.med.osaka-u.ac.jp/education/students/format/certificate-2>



11-7. 車両入構について

オートバイ（原動機付自転車を含む）での入構を希望する1年次生は、所属研究室経由での申請となります。

11-8. 気象警報発令時の授業の取扱いについて

大阪大学公式HPの『学生生活・学生支援＞学生生活全般＞気象警報の発表時等における授業の取扱い』より確認してください。

https://www.osaka-u.ac.jp/ja/guide/student/general/severe_weather



11-9. 各種募集要項等の閲覧について

教務課学生支援係にて次のファイルを設置していますので利用してください。

他大学募集要項等 / 奨学生募集 / 研修・セミナー案内、等

12. 外国人留学生留意事項

① 在留資格の変更について

出入国在留管理局にて変更の手続きを行ってください。その際、教務課教務係にて作成する書類がありますので、希望する場合は事前にご相談ください。

② 入学時の提出書類について

入学後、以下の書類を速やかに提出してください（基本調査については様式をお渡しします）。

- ・ 外国人留学生基本調査
- ・ パスポート査証欄および顔写真のページの写し
- ・ 在留カード両面の写し

③ 海外への渡航について

一時帰国や学会発表などで国外に出るときは、必ず「海外渡航届システム」に登録してください。

④ 資格外活動許可書について

留学生がアルバイトをするためには、「資格外活動許可書」を取得する必要があります。

必要な方は直接、出入国在留管理局にて申請してください。なお、国費留学生の方は、申請の前に教務課教務係までご相談ください。

許可された場合は、週28時間以内までのアルバイトが可能になります。

⑤ 私費留学生奨学金について

私費留学生対象の奨学金については、KOAN掲示板及び各教室への通知等により募集します。

⑥ 宿舎について

大阪大学新稲国際寮等、一部の学生寮については入居募集があればKOAN掲示板及び各教室への通知等によりお知らせいたします。

※大学の宿舎については、サポートオフィスのホームページをご確認ください。

※民間宿舎賃貸の際に必要な連帯保証人制度については、学内生協までご相談ください。

（民間宿舎については当研究科では紹介していませんので、学内生協等で相談願います。）

⑦ 入学料免除、授業料免除について（私費留学生のみ）

入学料免除・授業料免除については、申請者は日本人学生と同様に選考されます。

詳細は学生センターに問い合わせ、もしくは大阪大学ホームページに掲載されておりますので、そちらを確認してください。

⑧ 学生定期健康診断について

健康診断書は、寮の申請や奨学金の申請で必要になることがあります。

例年春に保健センターにて実施される健康診断は必ず受検してください。

規 程 等

各種規程については、大阪大学の下記WEBサイトをご確認ください。

【大阪大学規程集】 http://www.osaka-u.ac.jp/jp/about/kitei/reiki_menu.html

閲覧できる主な規程

大阪大学学部学則

大阪大学大学院学則

大阪大学大学院医学系研究科規程

大阪大学学位規程

大阪大学外国人留学生の入学に関する規程 ほか



大阪大学医学部医学科及び医学系研究科（保健学専攻を除く。）における
成績評価異議申立てに関する内規

（目的）

第1条 この内規は、大阪大学医学部医学科及び医学系研究科（保健学を除く。）における成績評価に対する異議申立ての手続きについて、必要な事項を定めることにより、成績評価に関して学生に対する説明責任を果たすことを目的とする。

（定義）

第2条 この内規において学生とは、学部学生、大学院学生、科目等履修生又は特別聴講学生をいう。

（異議申立事由）

第3条 学生は、次の各号の一に該当する場合に限り、異議申立てを行うことができる。

- （1）成績評価が、明らかに誤記入（採点ミス・登録ミス）によるものと思われる場合。
- （2）成績評価が、明らかに試験等の結果や出席状況などから判断して、誤っていると思われる場合。

（異議申立手続き）

第4条 異議を申し立てようとする学生は、別に定める「成績異議申立書」を医学系研究科教務室教務係（以下「教務係」という。）に提出するものとする。また、担当教員への直接の異議申し立ては認めない。

- 2 異議申立て期限は、成績開示日から原則として7日以内（ただし、土曜日、日曜日及び祝日を除く。）とする。ただし、やむを得ない事由があると認められる場合は、この限りでない。
- 3 担当教員は、「成績異議申立書」受理日から原則として10日以内に、異議に対する回答を教務係に行うものとする。
- 4 教務係は、担当教員の回答を受理次第、速やかに学生に回答するものとする。
- 5 異議申し立てに対する回答への再異議申し立ては認めない。

附則

この内規は、平成27年11月12日から施行し、平成27年4月1日から適用する。

大阪大学大学院医学系研究科博士課程医学専攻／修士課程医科学専攻
における研究指導計画書に関する申合せ

大阪大学大学院医学系研究科の大学院課程（博士課程及び修士課程。博士前期課程、後期課程は除く。以下同じ。）の学生に対して、大阪大学大学院学則第5条の4第1項に基づく研究指導の方法及び内容並びに1年間の研究指導の計画を明示するために作成する研究指導計画書（以下「計画書」という。）について、次のとおり定める。

- 1 計画書は、各年度、教室ごとに指定された期日までに指導する学生ごとに作成する。
- 2 指導教員は、次の手順で計画書を作成する。
 - 一 学生と十分な打合せ等を行い、研究計画及び研究指導計画を作成し、計画書に記入する。
 - 二 作成した計画書を学生に明示し、指導教員と学生の双方が適切な方法により参照できるようにする。
- 3 指導教員は、必要に応じて、研究指導計画の見直しを行い、実効性の高いものに改めるよう努める。
- 4 研究科は、必要に応じて、指導教員に対し研究計画に基づく成果を報告する機会を設けることができる。
- 5 博士課程の学生は、作成した計画書を研究発表会の申請書類の1つとして、4年分をまとめて教務係に提出する。3年次3月末早期修了申請者については、3年分をまとめて教務係に提出する。
- 6 修士課程の学生は、作成した計画書を2年次の11月中旬に、主査・副査候補者の推薦書、論文概要と併せて2年分の計画書を教務係に提出する。
- 7 学生が退学しようとするときは、退学願に加え、退学を希望する年度までの計画書を併せて教務係に提出する。
- 8 提出された計画書は、5年間、教務係で保存するものとする。
- 9 この申し合わせに定めるもののほか、必要な事項については、大学院教務委員会が定めるものとする。

令和2年10月5日
大学院教務委員会承認
令和2年11月12日
医学博士課程委員会承認

研究指導計画書（1年次用）

<研究指導計画>

学生記入項目

指導教授記入項目

年 月 日
/ / /
(yyyy/mm/dd)

学籍番号 Student No.		学年 Grade (School Year)	1	学生氏名 Name	
所属教室名 Department	様式は医学系研究科ホームページより取得すること。 				
研究題目 Research Title					
研究計画（研究目的、概要） Research Plan (Goal, Outline)					
研究指導計画（研究計画を踏まえ、当該学生を指導する方法、内容、計画等） Research Instruction Plan (The way, contents, schedule to instruct the student based on the Research Plan)					

<研究指導報告>

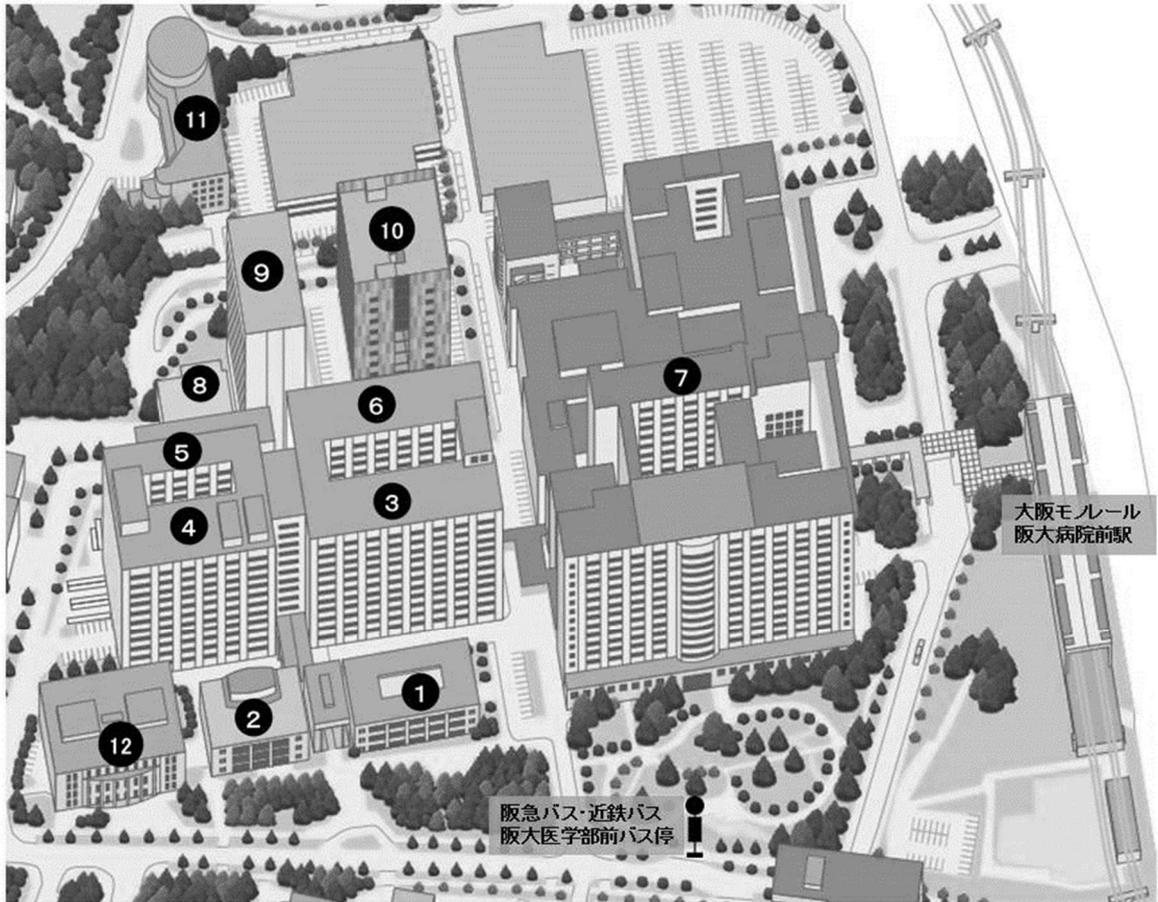
学生記入項目

指導教授記入項目

年 月 日
/ / /
(yyyy/mm/dd)

研究の進捗度合（研究内容の中途での変更は問わない。ただし、研究内容が当初の計画から指導を受け、変更になった場合は変更後の研究について進捗を記載すること。） Research Progression (You can change the research theme in the middle of the corresponding year, but when your research theme has been changed from the initial plan through the discussion with your supervisor, write down the progression of your changed research theme.)	ブルダウンから選択してください
進捗に遅れがある場合はその理由、研究指導に要望等があればその内容を記載すること。 If your research schedule is delayed, fill in the blanks below with the reason. If you have something to ask your supervisor, write down the contents of requests or demands.	
研究指導の達成度合 Achievement Level of Research Instruction	ブルダウンから選択してください
所見と次年度への留意点 Summary of this year and Improvements for the next year	

大阪大学医学部 周辺地図



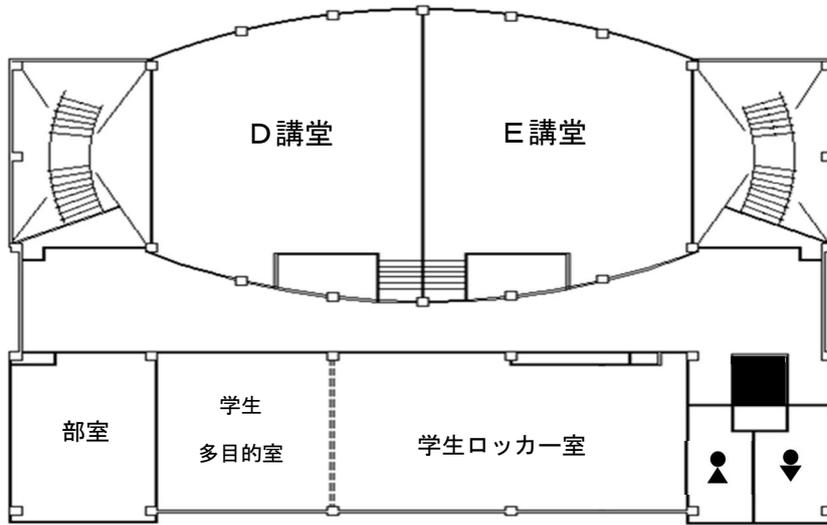
- ① 共通棟 （※1階…教務課教務係 窓口）
- ② 講義棟
- ③ 臨床研究棟
- ④ 基礎研究棟
- ⑤ 共同研究棟
- ⑥ バイオメディカル教育研究棟
- ⑦ 大阪大学医学部附属病院
- ⑧ R I 実験棟
- ⑨ 動物実験棟
- ⑩ 最先端医療イノベーションセンター棟（CoMIT 棟）
- ⑪ 銀杏会館
- ⑫ 生命科学図書館

医学部講義棟案内図

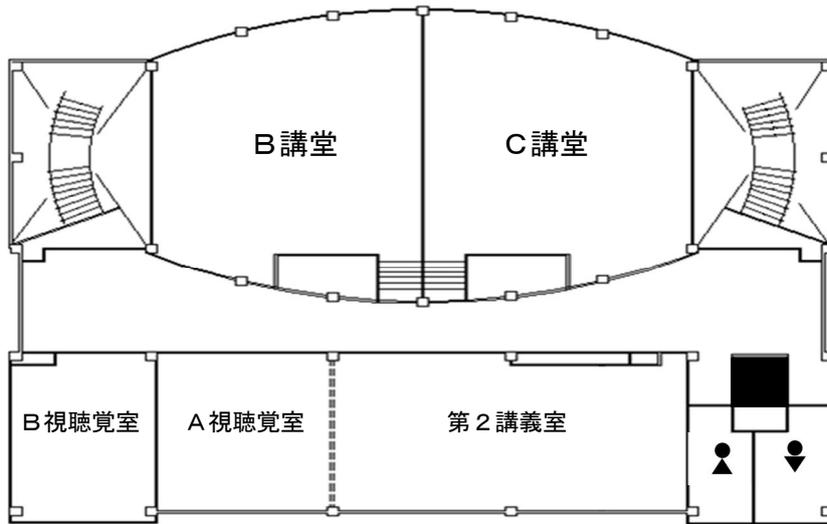
3階

(凡例)

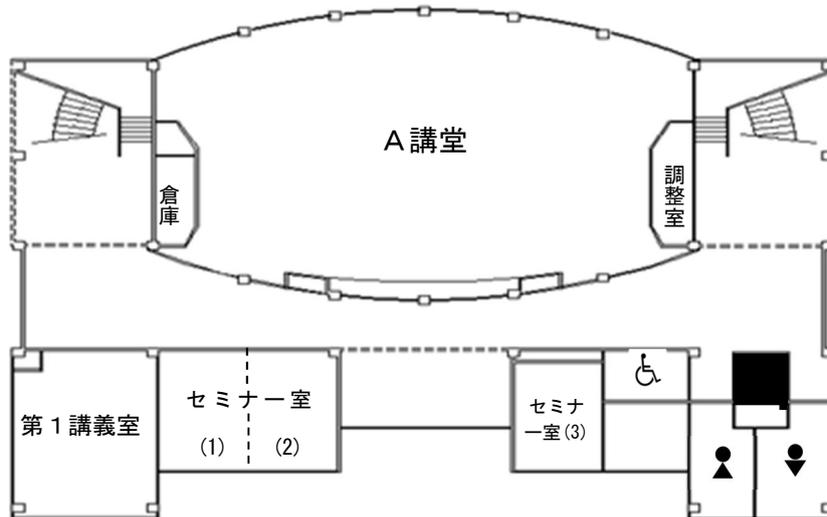
- ♂ 男子トイレ
- ♀ 女子トイレ
- ♿ 身障者用トイレ
- エレベーター



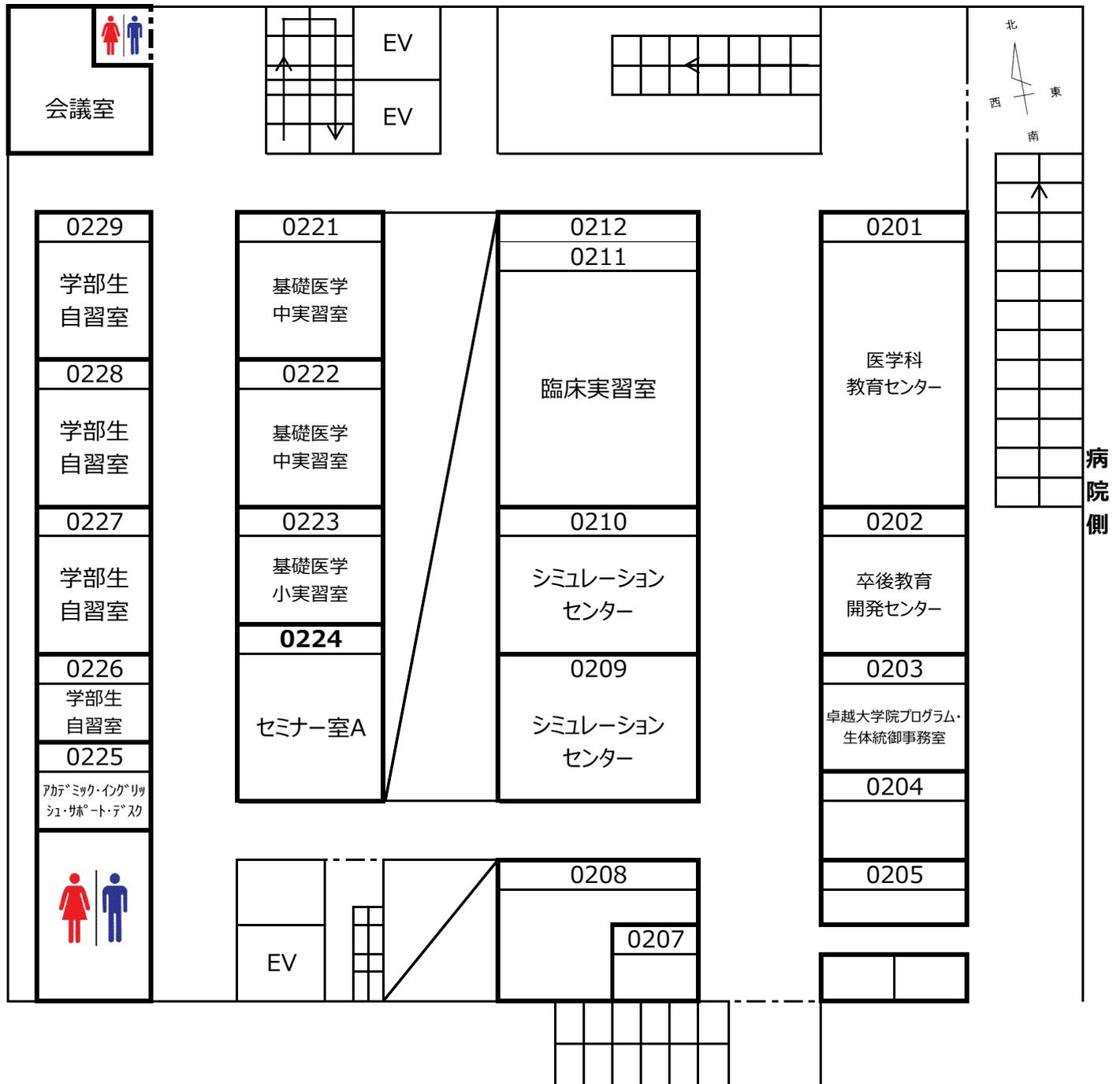
2階



1階



最先端医療イノベーションセンター棟 (CoMIT) 2階案内図



大阪大学大学院医学系研究科教務課教務係
〒565-0871 吹田市山田丘2-2
電話 06-6879-3016 (直通)
E-mail: i-kyomu-kyomu@office.osaka-u.ac.jp